

令和8年度 授業改善推進プラン

1 年

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	・ 目的をもつて的確に話を聞く。 ・ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える。 ・ 経験したことや想像したことなどを事柄の順序に沿って書く。	・ 話を集中して聞くことがまだ難しく、教師や友達が話していることを聞き逃す児童が多い。 ・ 文字を読むことに慣れていないため、まとまった文章を読むことが難しい。 ・ 目的に応じて書いたり、思いを文に表現したりすることに苦手意識をもっている児童が多い。	・ 集中して話を聞けるように、聞く姿勢を作らせてから話をする。 ・ 語のまとまりで読む力が付くように、音読を継続して行ったり、日常的に言葉遊びを取り入れたりする。事柄の順序を考えながら読んだり話したりできるように話型やキーワードを示す。 ・ 日記や手紙を書く活動を取り入れ、思いを文に表す機会を作る。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
算数	・ 問題場面を理解し、文章問題を正確に解く力を身に付ける。 ・ 20までの数の加法減法の計算を素早く確実に行う。	・ 文字を読むことに慣れていないこともあり、問題場面を理解し、理由を明確にしながら演算を決定することが難しい。 ・ 答えがわかり計算はできるが、正確さに欠けるところがある。	・ 「分かっていること」「聞かれていること」を確認し、問題場面を丁寧に読み取らせる。 ・ 具体物を使って操作させる。 ・ 友達と伝え合う時間を作り、アウトプットの機会を作る。 ・ 反復練習を継続して取り組む時間を確保する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
生活	・ 動植物を育て、観察することにより自然への関心を高める。 ・ 植物の生長に応じて継続的に世話をすることを通して、様々なことに気づき、記録する。 ・ 家族・友達との関わりから、周りの人に支えられていることに気付く。	・ 生活経験による個人差が大きい。 ・ アサガオを育てる学習を始めたばかりであるが、興味をもって観察したり世話をしたりするよう教師が声掛けをする必要がある。 ・ 児童自らが、自分の成長や周りの人に助けられていることに気付く機会が少ない。	・ 季節を探しに行く学習や、アサガオの栽培を通して、自然への関心を高めさせる。季節ごとの動植物の観察をし、季節の変化を感じさせ、関心をもてるようにする。 ・ アサガオの観察をすることにより、生長に応じてどのような世話が必要になるかを、自分たちで考える体験的活動の機会を作る。 ・ 学校探検や家族の手伝い、お世話になった人への感謝の手紙を書く等の活動を通して、人との関わりの大切さに気付かせる。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	・楽しみながら、のびのびと歌う。 ・拍を感じてリズムを打つ。鍵盤ハーモニカを正しく演奏する。 ・鑑賞を通して、音楽を楽しむ。	・歌うことが好きだが、正しい音程を意識して歌う経験が少ない。 ・簡単なリズム打ちや鍵盤ハーモニカの演奏を始めたばかりで、学習としての経験は少ない。 ・音楽を鑑賞する経験が少ない。	・歌うときの姿勢や発声方法など、歌唱の基礎を身に付けさせる。 ・手拍子に加え、カスタネットや鈴、タンブリンなどの簡単な楽器を通して、リズム遊びやリズムを聴き合う活動を取り入れる。 ・鑑賞教材を通して、曲の感じや使われている楽器を想像し、鑑賞するよさに気づき、音楽を楽しむことができるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	・すすんで表したり見たりして楽しむ。 ・はさみやのり、クレヨン、絵の具等の基本的表現技法を身に付ける。	・作品の進み具合に個人差がある。工夫をせずに終えようとすることがある。 ・技能を十分に習得する前に表現活動に入り、不必要に失敗を感じてしまう。	・児童全員が活動のねらいや見通しをもって取り組めるように、参考作品や手順を明確に示す。 ・友達の作品を自由に見て回る時間を確保し、それを参考にしたいうえで改めて制作できるよう、授業を計画する。 ・素材を試したり味わったりする時間を一層充実させ、自信をもって表現活動に取り組めるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	・体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら、基本的な動きを身に付ける。 ・各種の運動遊びを知り、自己に合った楽しみ方を選択できる。	・体を動かすことは概ね好きである。運動を経験している児童と、していない児童の能力差が大きい。 ・様々な運動遊びの経験が少なく、自己決定を楽しむまでに至っていない。	・各単元のねらいに繋がる感覚遊びを単元計画に組み込み、運動遊びにつながる基本的な動きに十分に慣れ親しませる。 ・各種の運動遊びを十分に行う時間を確保する。個の運動能力に応じて、動きを工夫させたり、複数人での取り組みをさせたりして、運動遊びの弾力化を図る。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	・英語を用いたコミュニケーションに親しもうとする姿勢を身に付ける。	・英語を用いてコミュニケーションすることを楽しむ児童が多い。一方で、英語を話すことに対して不安を感じる児童もいる。	・全員が歌やゲームへ参加できるように、デモンストレーションを多く取り入れて児童が安心して活動できるようにする。 ・楽しく英語に触れることができるように、簡単な単語を使った挨拶や相互に称賛する機会を毎時間の始めに行う。
道徳	・道徳的価値についての理解を深める。 ・自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える力を育成する。	・生活経験に差があり、自分自身を振り返ることや、道徳的価値に結び付けることが難しい。 ・児童が自分の考えを言葉で伝えることが難しく、友達の多様な考えに触れることに至っていない。	・児童が教材を理解した上で学習できるように、教材提示を工夫する。 ・動作化や役割演技など、表現活動を工夫することで、児童が自分事としてとらえ、自分自身を見つめられるようにする。
特別活動	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義を理解する。また、活動をする上で必要となることについて、行動の仕方を身に付ける。	・学校生活を始めたばかりで、大人数での生活経験が少ない。まだ自己中心的であり、集団を意識することは難しい。	・話し合い活動を通して、互いの考えをまとめる活動を指導する。 ・学級の当番活動や係活動を通して、学級のために楽しく活動できるように、活動内容を振り返るようにする。

令和8年度 授業改善推進プラン

2 年

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	・自分の思いや考えを明確にして、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える力を身に付ける。 ・既習の漢字や言葉を文章の中で活用する力を育てる。	・考えや感じたことを友達同士で話すことには意欲的であるが、相手を意識して順序立てて文章を書くことが難しい児童が多い。 ・漢字を読むことはできるが、既習の漢字を文章の中で正しく書くことに課題がある。	・話したことを基に、伝えたいことを整理しながら文章を書く指導を充実させる。 ・日常的に文章を書く機会を設け、友達と交流する活動を通して書く力を高める。 ・言葉集めや漢字クイズなどを取り入れ、楽しみながら語彙や漢字の定着を図る。 ・ノートや作文の指導では、既習の漢字を意識して使うよう指導を徹底する。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
算数	・長さやかさなどの量を、具体的な操作を通して直接比べたり、他の物を用いて間接的に比べたりする力を身に付ける。 ・数量の関係に着目しながら、計算の意味や計算の仕方を考える力を身に付ける。	・長さやかさ、時刻などについて学習しているが、単位の意味を十分に理解しておらず、量を適切に表したり比べたりすることが難しい児童がいる。 ・計算はできるが、その仕方や理由を説明することに課題が見られる。 ・数量の関係に着目して、計算の仕方を考えたり工夫したりすることが十分ではない。	・実際に測定する活動を多く設定し、単位の意味や量の感覚を身に付けさせる。 ・日常生活と関連付けながら、長さやかさ、時刻について考える機会を設ける。 ・計算の答えを求めるだけでなく、考え方を言葉や図を用いて説明する活動を取り入れる。 ・友達と伝え合う活動を通して、多様な考え方に触れながら理解を深められるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
生活	・身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学び、生活を豊かにしようとする力を育成する。	・植物を育てることには興味をもつが、継続的に世話をすることに個人差が見られる。 ・地域の様子に触れる機会が多いが、そのよさや特徴について理解を深めることが十分ではない。	・ミニトマトの栽培を通して、継続的に世話をすることの大切さに気付かせる。 ・観察して気付いたことを友達と伝え合う活動を設け、見方・捉え方を広げる。 ・町探検や大使館調べを通して、地域の特色や多様な文化への理解を深める。 ・地域の方との関わりを通して、学びを具体的に広げる。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	・音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける。 ・音楽表現を考えて表現に思いをもって表現する力を身に付ける。	【知識・技能】 ・正確な運指で鍵盤ハーモニカを演奏する技能について、十分に身に付いている児童とそうでない児童があり、個人差が見られる。 ・音色に気を付けて歌ったり鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を高める必要がある 【思考・判断・表現】 ・曲想や歌詞の意味を生かし、声や楽器の音色を工夫して表現する力を育成する必要がある。	・指の名前や番号、演奏する手を定期的に確認するとともに、児童の習熟度に応じて、指番号唱や階名唱、一音ずつの運指確認、ゆっくりしたテンポでの反復練習などを取り入れ、正確な運指で演奏する技能の定着を図る。 ・教師の範唱や模範演奏を参考にしながら、歌声や鍵盤ハーモニカの音色を聴き比べる活動を取り入れ、音色に気を付けて表現する技能を育成する。 ・表現の工夫を考える前に、感じ取った曲想を共有したり歌詞の意味を考えたりする時間を設け、思いをもって表現の工夫ができるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	・色や形の違いに気付き、手や体全体の感覚を働かせ、材料や用具を使い、創造的につくったり表したりする。 ・表したいことに向かって楽しく発想や構想を広げ、身の回りの作品などから自分の見方、感じ方を広げる。	【知識・技能】 ・基本的な材料、用具の扱い方を定着させる必要がある。 【思考力・判断力・表現力】 ・材料や用具、言葉、色等から楽しく発想や構想を広げられることに課題がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・用具や材料から想像を広げ、楽しく表現活動に取り組むことができるようにする必要がある。	・用具の安全な扱い方を徹底し、体全体の感覚を働かせながら、基礎的な技術の定着を図る。 ・様々な材料や用具を活用し、感じたことや想像したことを基に、発想や構想を広げられるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	・各種の運動遊びの楽しさに触れながらその行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付ける力を育成する。	・ボール投げ、長座体前屈の結果が全国平均値を下回っている。 ・様々な運動を経験する機会が少なく、動きの幅に個人差が見られる。	・多様な動きをつくる運動遊びを取り入れ、様々な運動遊びに親しむ経験を増やす。 ・走る、跳ぶ、転がる、のぼる、おりる、ぶら下がる、投げるなど、基本的な動きを繰り返し経験することで、運動技能の向上を図る。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	・外国語活動に親しむ態度を育成する。	・自分のことや身の回りのものを表す簡単な語句を聞き取ることに個人差が見られる。 ・外国語活動を楽しんでいる児童が多い一方で、NTの英語を聞き取ることや、自ら英語で発話することに不安を感じる児童がいる。	・NTの発音や活動の説明を分かりやすく提示するとともに、必要に応じて個別の支援を行う。 ・歌やゲームを繰り返し行い、楽しく外国語に親しむことができるようにする。 ・ペアワークや小グループでの活動を通して、友達とコミュニケーションを図る楽しさを実感させる。
道徳	・善悪を判断し、自律的に行動しようとする態度を育てる。 ・相手を思いやり、親切に行動しようとする心情を育てる。	・善悪の判断を表面的に捉え、その理由や背景について深く考えることが難しい児童がいる。 ・思いやりのある行動が特定の友達との関わりにとどまり、多様な人との関わりに広がっていない。 ・自分の考えを伝えることはできるが、友達の考えを受け止めたり共感したりすることに課題が見られる。	・児童の日常生活と結び付けて考えられる教材や資料を活用する。 ・考えを深める発問を工夫し、多面的・多角的に考えられるようにする。 ・ペアやグループでの対話活動を取り入れ、互いの考えを認め合う態度を育てる。 ・動作化や役割演技を取り入れ、自分事として考えられるようにする。 ・振り返りの時間を確保し、自分自身の成長や人との関わりについて考えられるようにする。
特別活動	・学級生活の充実や向上のために、児童が主体的に組織をつくり、自分の役割を自覚しながら協力して活動する力を育成する。	・係活動には意欲的に取り組む児童が多いが、学級全体のために活動する意識には個人差が見られる。 ・自分の考えを伝えることはできるが、友達の意見を聞きながら話し合いを進めることに課題がある。	・学級で定期的な学級会を設定し、「話し方」や「聞き方」のルールを確認しながら、円滑に学級活動を進められるようにする。 ・係活動では、1年生での経験を生かしながら、自分たちで必要な係や活動内容を考えて主体的に取り組めるようにする。 ・定期的に振り返りの機会を設け、学級のために活動することのよさや達成感を味わえるようにする。

令和8年度 授業改善推進プラン

3 年

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・語彙を豊かにし、様子や行動、気持ちや性格を適切に表現する力を育成する。 ・伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめて表現する力を育成する。	本校における標準学力調査 CBT 平均正答率 59.4% ・語彙が不足しており、自分の考えや気持ちを適切な言葉で表現することが難しい児童がいる。 ・自分の思いや考えをまとめたり、相手に分かりやすく伝えたりすることに課題が見られる。	・教科書巻末や辞書、タブレット端末等を活用し、意味の分からない言葉があるときに調べる習慣を身に付けさせる。 ・書く活動や話し合う活動を意図的に取り入れ、自分の思いや考えを表現する経験を積み重ねる。
社会	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	学習評価等の結果に基づく課題
	・資料や地図などを活用して必要な情報を調べる力を育成する。 ・調べたことを整理し、分かりやすくまとめる力を育成する。	・必要な情報を得るために、適切な資料や地図、インターネット等を選択することが十分ではない。 ・必要な情報を検索するための言葉を考える経験が不足している。 ・調べたことを整理してまとめることに課題が見られる。	・日常的に資料や地図を活用した授業を行う。 ・まとめる活動が苦手な児童には、まとめ方の型を示し、見通しをもって活動できるようにする。
算数	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・量感を豊かにし、数量や図形についての理解を深める力を育成する。 ・計算や作図、測定、表やグラフを用いて表現する技能を身に付ける。 ・数の表し方や計算の仕方について筋道を立てて考える力を育成する。 ・数学的な見方や考え方を生活や学習に生かそうとする態度を育成する。	本校における標準学力調査 CBT 平均正答率 75.1% ・問題文から必要な情報を読み取ることに課題が見られる。 ・図や式、言葉などを用いて、自分の考えを説明することが十分ではない。	・問題解決の過程や結果を具体物や図、数、式などを用いて表現し、伝え合う活動を意図的に取り入れる。 ・量感を養う活動を取り入れるとともに、生活場面との関連を考える機会を設ける。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	・自然の事物・現象の差異点や共通点に着目し、問題を見出し解決する力を育成する。	・自然の事物・現象の差異点や共通点に着目して観察することが十分ではない。	・自然の事物・現象の差異点や共通点を見付ける経験を積み重ね、主体的に問題解決に取り組めるようにする。 ・二つ以上の事物や現象を比較できるように提示し、差異点や共通点に気付けるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	・表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・進んで音楽表現を考え、思いや意図をもって表現する力を育成する。	【知識・技能】 ・呼吸や発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌うことに課題が見られる。 ・リコーダーの基本的な奏法(支え方・タンギング・運指)の習得に個人差が見られる。 【思考・判断・表現】 ・旋律の特徴を捉え、それを生かした歌い方や演奏の仕方を工夫することに課題が見られる。	・発声や呼吸法を意識して歌う活動を継続的に取り入れ、自然で無理のない歌い方ができるようにする。 ・リコーダーの基本的な奏法が身に付くように、毎時間確認や反復練習を行う。 ・旋律の特徴を聴き取ったり楽譜で確認したりする活動を通して、表現を工夫できるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	・色や形の特徴を捉え、材料や用具を使って創造的に表現する力を育成する。 ・豊かに発想や構想を広げ、多様な見方や感じ方ができる力を育成する。	【知識・技能】 ・基本的な材料、用具の扱い方に個人差が見られる。 【思考力・判断力・表現力】 ・材料や用具、言葉、色などから発想や構想を広げられることに課題が見られる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・用具や材料から想像を広げ、自ら進んで取り組む姿勢に個人差が見られる。	・用具の安全な扱い方を徹底し、体全体の感覚を働かせながら、材料や用具を扱い、基礎・基本的な技術の定着を図る。 ・様々な材料や用具を活用し、感じたことや想像したことを基に、発想や構想を広げられるようにする。 ・友達の作品を鑑賞し合う活動を取り入れ、自ら進んで表現活動に取り組めるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	・基本的な動きや技能を身に付ける力を育成する。 ・自己の課題を見付け、解決方法や活動を工夫する力を育成する。 ・各種の運動に進んで取り組み、最後まで努力する態度を育成する。	・運動経験に個人差があり、基本的な動きの習得状況に差が見られる。 ・柔軟性に課題が見られる児童が多い。	・様々な運動に取り組む場を設定し、多様な動きを経験できるようにする。 ・技能差に応じた場や用具を工夫し、どの児童も運動の楽しさや達成感を味わえるようにする。 ・準備運動や柔軟運動を継続的にを行い、柔軟性の向上を図る。

令和8年度 授業改善推進プラン

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ力を育成する。 ・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	・英語の音声や基本的な表現の定着に個人差が見られる。 ・外国語でのコミュニケーションに自信をもてない児童がいる。	・歌やゲームなどを通して、楽しく英語に触れることができるようにする。 ・繰り返し活動を行うことで、見通しや自信をもって学習できるようにする。 ・めあての確認と振り返りを行う。
道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・親切や思いやりの大切さを理解し、実践しようとする態度を育成する。	・自分の考えや行動について振り返ることに課題が見られる。 ・学習課題について自分の考えをもつことが難しい児童がいる。	・考える必然性のある発問や自由な思考を促す発問を通して、自我関与を促す。 ・自己を振り返る時間を十分に確保し、自己の生き方や行動について考えられるようにする。
特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、話し合いを通して合意形成を図る力を育成する。	・自分の考えをまとめ、相手に分かりやすく伝えることに課題が見られる。 ・集団の目標達成や課題解決に向けて考えたり、合意形成を図ったりすることが十分ではない。	・集団の目標達成や課題解決について話し合う場を計画的に設定する。 ・定期的に集団の目標について振り返る機会を設定し、課題解決に向けての意欲を高める。
総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・実社会や実生活の中から課題を見だし、情報を収集・整理・分析して表現する力を育成する。	・情報収集の方法や情報の活用方法、著作権についての理解が十分ではない。 ・集めた情報を整理・分析し、まとめることに課題が見られる。	・国語や社会の学習と関連させながら、調べた情報を整理・分析し、まとめたり発表したりする活動を充実させる。 ・情報収集の方法や情報モラル、著作権について指導し、適切に情報を活用できるようにする。

令和8年度 授業改善推進プラン

4 年

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	本校における標準学力調査 CBT 平均正答率 68.3% ・第3学年までに学習した漢字を文章の中で正しく活用することに課題が見られる。 ・叙述を基に登場人物の気持ちを捉えることが十分ではない。	・漢字の書き取りに関しては、ドリルを使った反復学習を継続するとともに、教科書教材の「漢字の広場」などを活用し、漢字を文章の中で活用する機会を設ける。 ・吹き出しや日記を書く活動を取り入れ、叙述を基に登場人物の気持ちを考える場を設定する。 ・行動や会話、心内語に着目し、心情を捉えるための根拠を見付けられるようにする。
国語	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、表現する力を育成する。	・資料から必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめることに課題が見られる。	・資料ごとの着眼点を具体的に示し、必要な情報を読み取る力を育てる。 ・資料から読み取った事実と考察を区別してまとめられるようにする。
社会	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・問題から必要な条件を見付け、数量関係を理解する力を育成する。	本校における標準学力調査 CBT 平均正答率 72.7% ・問題場面における数量関係を把握し、□を使った式に表現することに課題が見られる。	・基礎コースでは、児童が自ら図を用いて問題の構造を視覚化していけるような指導を行っていく。 ・発展コースでは、不要な条件を問題に加え、問題解決に必要な条件を判断するような問題にアレンジすることで、様々な条件から問題把握に必要な条件を見付ける力を高める。
算数	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	・既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を育成する。	・季節の移り変わりに伴う植物や動物の変化について理解することに課題が見られる。 ・予想と結果を比較して考察したり、根拠をもって自分の考えを表現したりすることが十分ではない。	・複数の事象を比較する活動を取り入れ、差異点や共通点に着目できるようにする。 ・既習事項や生活経験と関連付けながら考える対話的な活動を充実させる。 ・実験や観察、動画資料等を活用し、具体的な体験を通して理解を深める。
理科	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	・表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・進んで音楽表現を考え、思いや意図をもって表現する力を育成する。	【知識・技能】 ・呼吸や発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方をすることに課題が見られる。 ・声や楽器の音色を工夫して表現する技能に個人差が見られる。 【思考・判断・表現】 ・既習の知識や技能を活用して表現を工夫することが十分ではない。	・姿勢や呼吸、発声の仕方について継続的に確認するとともに、教師の範唱を聴いて響きのある歌声をまねたり、自分の歌声を振り返ったりする活動を取り入れ、自然で無理のない歌い方を身に付けられるようにする。 ・声や楽器の音色の幅を増やすために、様々な表現方法で歌ったり演奏したりする時間を増やし、技能の向上を図る。 ・楽曲で活用する可能性があるこれまでに学習した知識や技能を事前に復習し、表現の工夫を考える際に活用できるようにする。
図工	・色や形の特徴を捉え、既習の材料や用具を活用して創造的に表現する力を育成する。 ・豊かに発想や構想を広げ、自分の見方や感じ方を深める力を育成する。	【知識・技能】 ・基本的な材料、用具の扱い方に個人差が見られる。 【思考力・判断力・表現力】 ・材料や用具、言葉、色などから発想や構想を広げられることに課題が見られる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・用具や材料から想像を広げ、自ら進んで取り組む姿勢に個人差が見られる。	・用具の安全な扱い方を徹底し、既習の材料や用具に加えて、新たな材料や用具の技能の定着を図る。 ・様々な材料や用具を活用し、感じたことや想像したことを基に発想や構想を広げられるようにする。
体育	・自己の運動や健康に関する課題を見付け、解決方法や活動を工夫し、考えたことを他者に伝える力を育成する。	・一部の児童を除き、投げる運動や跳ぶ運動の経験が少ない。	・投げる運動や跳ぶ運動を計画的に取り入れ、多様な運動経験を積めるようにする。 ・運動のこつや工夫を伝え合う活動を通して、自分の課題を解決できるようにする。 ・技能差に応じた場や用具を工夫し、運動の楽しさを味わえるようにする。

令和8年度 授業改善推進プラン

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報や考えを表現する力を育成する。	・NT の発音やゲームのルールの説明を正確に聞き取れず、学習に消極的な児童が見られる。	・歌やゲーム、対話活動を通して、英語でコミュニケーションする楽しさを味わえるようにする。 ・視覚資料やデモンストレーションを活用し、活動内容を理解しやすくする。 ・繰り返し表現する機会を設け、自信をもって伝えられるようにする。
道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・自分の考えや意見を伝えるとき、相手を理解し、異なる意見も尊重する態度を育成する。	・問題意識をもって、多面的・多角的に考えることに課題が見られる。	・問題意識をもてる発問や教材提示を工夫する。 ・ペアやグループでの対話活動を取り入れ、多面的・多角的に考えられるようにする。 ・振り返りの時間を確保し、自分の考えや生き方について考えられるようにする。
特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、話し合いを通して合意形成や意思決定ができる力を育成する。	・自分と異なる考えを受け入れながら、学級全体が納得できるように話し合うことが十分ではない。	・学級生活の課題について話し合う機会を定期的に設ける。 ・自分と異なる意見を尊重しながら話し合う方法を指導する。 ・振り返り活動を通して、合意形成や意思決定のよさに気付けるようにする。
総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・実社会や実生活の中から課題を見出し、情報を収集・整理・分析し、まとめて表現する力を育成する。	・課題解決に向けた情報収集において、タブレット端末以外の調べ方を活用することに課題が見られる。	・図書資料やインタビューなど、タブレット端末以外の情報収集方法も活用できるようにする。 ・集めた情報を整理・分析し、分かりやすくまとめる活動を取り入れる。 ・発表や交流の機会を設け、自分の考えを表現する力を高める。

令和8年度 授業改善推進プラン

5 年

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	- 文章や話の内容を的確に捉え、根拠を明確にしながら、自分の考えを表現する力を育成する。 - 互いの考えの共通点や相違点に着目し、考えを広げたり深めたりする力を育成する。	本校における標準学力調査 CBT 平均正答率 65.2% - 話し合いにおいて互いの意見の共通点や相違点を捉えることや、自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして書くことに課題が見られる。 - 主語と述語、連用修飾語など、文の構成に関する理解に課題がある。	- 話し合いでは、意見の共通点や相違点を整理する視点を示し、考えを広げる活動を取り入れる。 - 書く活動では、主張と理由・事例との関係を構成メモで整理させる。 - 主語・述語や修飾語について、作文や文章の推敲と関連付けて継続的に指導する。

社会	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	- 統計や地図などの基礎資料を活用し、必要な情報を適切に調べ、まとめる技能を身に付ける。 - 社会的事象の特色や相互の関連、意味について多角的に考える力を育成する。	- 統計やグラフなどの資料を基に、現象の背景を推察することに課題が見られる。 - 複数の情報を関連付けて考察する力を高める必要がある。	- 統計や地図、写真など複数の資料を比較・関連付ける学習を取り入れる。 「なぜそうなるのか」を考える発問を工夫し、社会的事象を多面的に考察できるようにする。 - ペアやグループで考えを交流する活動を通して、資料活用能力や考察力の向上を図る。

算数	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	- 基準量、比較量、割合の関係を基に数量を比較し、説明する力を育成する。 - 図形の性質を根拠として考察する力を育成する。 - 表や二次元表などの情報を整理・分析し、必要な情報を選択して筋道立てて問題を解決する力を育成する。	本校における標準学力調査 CBT 平均正答率 72.4% - 基準量、比較量、割合の関係を基に数量を比較し、その理由を説明することに課題が見られる。 - 図形の性質を根拠として考察したり、作図に活用したりすることが十分ではない。 - 二次元表などから必要な情報を読み取り、問題解決に生かすことに課題が見られる。	- 図や表、式を活用して考えを表現し、説明し合う活動を充実させる。 - 既習事項を根拠として考える場面を設定し、論理的に説明する力を育てる。 - 振り返りや適用問題を通して学習内容の定着を図り、習熟度に応じた支援を行う。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	・自然の事物・現象に進んで関わり、観察・実験に必要な基本的な技能を身に付けるとともに、問題について予想や仮説を立て、結果を基に考察し、自分の考えを表現する力を育成する。	・観察・実験の目的を捉え、変える条件と変えない条件を整理して実験計画を立てることに課題が見られる。 ・観察・実験の結果を予想や仮説と関連付け、根拠を明確にして考察する力を高める必要がある。	・観察や実験の時間を十分に確保し、基本的な技能の定着を図る。 ・「変える条件」と「変えない条件」を明確にして実験計画を立てられるよう指導する。 ・結果を図や表に整理し、予想や仮説と関連付けながら根拠をもって考察できるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現に必要な技能を身に付ける。 ・主体的に音楽表現を考え、表現に対する思いや意図をもつとともに、演奏のよさを見いだしながら音楽を味わって聞く力を育成する。	【知識・技能】 ・響きのある歌い方で歌うことに課題が見られる。 ・曲想と音楽の構造との関わりを聴き取る力に個人差が見られる。 【思考・判断・表現】 ・音楽的な根拠を基に、自分の表現意図に合った歌い方や演奏の仕方を工夫することが十分ではない。	・体の使い方や呼吸法を継続的に指導し、声の響きを意識した歌唱ができるようにする。 ・曲想と音楽の構造との関わりに気付くよう、音楽を形づくっている要素や仕組みに着目して聴く活動を取り入れる。 ・歌い方や演奏の仕方を試したり聴き比べたりする活動を通して、自分の表現意図に合った表現を工夫できるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	・形や色、材料などの特徴を理解し、材料や用具を適切に扱いながら、表したいことに合わせて表し方を工夫し、創造的につくったり表したりする力を育成する。 ・表したいことを基に発想や構想を広げるとともに、自分や友達の作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深める力を育成する。	【知識・技能】 ・材料や用具の特徴を理解し、目的に応じて適切に扱う技能に個人差が見られる。 【思考・判断・表現】 ・形や色、材料などの特徴を生かし、発想や構想を広げながら表し方を工夫することに課題が見られる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に表現や鑑賞の活動に取り組む姿勢に個人差が見られる。	・材料や用具の特徴、基本的な扱い方を分かりやすく示し、試しながら技能を身に付けられる時間を確保する。 ・形や色、材料などの特徴に着目させ、試したり比べたりする活動を通して、表したいことに合わせて発想や構想を広げ、表し方を工夫できるようにする。 ・作品を見合い、互いの表現のよさや工夫を伝え合う鑑賞活動を取り入れ、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	・衣食住などの生活に関する基礎的な知識や技能を身に付け、日常生活の中から課題を見出し、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する力を育成する。	・学習した知識や技能を実生活と結び付けて活用することに課題が見られる。 ・家族の一員として自分にできることを考え、進んで実践する力を高める必要がある。 ・手縫いやミシン縫いなどの基礎的な技能に個人差が見られる。	・日常生活の中から課題を見出し、解決方法を考えて実践し、振り返る活動を取り入れる。 ・調理や裁縫などの実習では、手順を分かりやすく示すとともに、個人やグループで十分に練習する時間を確保する。 ・学習したことを家庭でも実践し、生活の改善につなげられるようにする。
体育	・運動の特性やルールを理解し、基本的な技能を身に付けるとともに、自分やチームの課題を見出し、仲間と協力しながら解決方法を考え、実践する力を育成する。	・運動経験や体力の差により、基本的な技能の定着に個人差が見られる。 ・チームで作戦を立てたり、互いの動きについて助言し合ったりしながら、課題解決に取り組む力を高める必要がある。	・児童一人一人の技能や体力の実態を把握し、段階的な課題や練習の場を設定する。 ・ペアやグループで作戦を立て、役割を交代しながら活動を取り入れ、協働して課題解決に取り組めるようにする。 ・ICT 機器や振り返りカードを活用し、自分や仲間の動きを見直して改善できるようにする。
国際	・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、相手に配慮しながら、自分の考えや気持ちを伝え合う力を育成する。 ・外国の文化や生活への理解を深め、異なる文化を尊重し、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	・基本的な語句や表現を理解しているが、実際の場面に応じて活用することに課題が見られる。 ・自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の話に反応しながらやり取りを続けたりする力を高める必要がある。	・目的や場面、状況を意識して表現できるよう、ペアや小グループでの対話活動やロールプレイを取り入れる。 ・既習の語句や表現を繰り返し活用する機会を設け、やり取りを続ける力を育てる。 ・ICT 機器を活用して発音や表現を振り返り、自信をもってコミュニケーションできるようにする。
道徳	・道徳的な課題を自分との関わりで捉え、多様な考えに触れながら、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める力を育成する。	・他者の考えと比較したり、異なる立場から考えたりしながら、自分の考えを広げたり深めたりすることに課題が見られる。 ・学習したことを自分の生活や今後の行動と結び付けて考える力を高める必要がある。	・生活経験を振り返る場面や、自分の考えを書く時間を確保し、道徳的な課題を自分事として捉えられるようにする。 ・話し合い活動を通して多様な考えに触れ、考えを広げたり深めたりする。 ・学習の終末に振り返りを行い、自分の生き方や今後の行動について考えられるようにする。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	・学級や学校のルールを理解し、集団の中で自己調整しながら友達と協働する力を育成する。 ・係活動や委員会活動、クラブ活動を通して、課題発見力や課題解決力、企画・運営する力を育成する。	・活動への参加意欲や責任感に個人差があり、活動の成果に差が見られる。 ・異学年の児童との関わりに不安や抵抗を感じる児童がいる。	・児童が自ら役割や目標を考える場を設け、主体性や当事者意識を高める。 ・異学年との交流活動を計画的に設定し、安心して関われる機会を増やす。 ・活動後の振り返りを通して、課題解決力や協働する力を高める。
総合的な学習の時間	・自ら課題を見出し、必要な情報を収集・整理・分析するとともに、目的や相手に応じた方法でまとめ、表現する力を育成する。 ・学習したことを自分の生活や将来と結び付けて考え、よりよく生かそうとする態度を育てる。	・目的に応じて必要な情報を選択し、比較・分類・関連付けながら整理・分析することに課題が見られる。 ・調べたことをまとめる際に、相手や目的に応じた表現方法を選択し、分かりやすく伝える力を高める必要がある。	・課題の設定から情報の収集、整理・分析、まとめ・表現までの探究の過程を意識して学習を進める。 ・思考ツールを活用し、情報を比較・分類・関連付けながら考えを整理できるようにする。 ・目的や相手に応じて表現方法を選択し、発表や交流を通して内容や伝え方を改善できるようにする。

令和8年度 授業改善推進プラン

6 年

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	目的や意図に応じて情報を引用し、事実と感想、意見を区別しながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力を育成する。	本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 68% - 集めた情報から必要な内容を引用し、引用した内容と自分の考えとの関係を明確にして書くことに課題が見られる。 - 漢字を文中で正しく使う設問は66.7% (全国80.0%)、情報を引用して考えが伝わるように書く設問は39.6%であった。引用した事実と自分の考えを関連付け、適切な言葉で記述する力に課題がある。	- 書く目的と相手を明確にし、必要な情報を選び、引用部分と自分の考えを構成メモ等で整理する活動を設定する。 - 文章を書いた後、引用の仕方や根拠と考えのつながりを観点に、互いに読み合って推敲する。

社会	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	我が国の歴史や政治、国際社会に関する社会的事象について、複数の資料を関連付けて調べ、根拠を基に考察し表現する力を育成する。	- 資料から読み取った事実を関連付け、社会的事象の特色や意味を根拠を基に説明することに課題が見られる。 - 複数の資料を関連付けて考察し、自分の考えを表現する力を高める必要がある。	- 複数の資料を比較・関連付け、共通点や相違点、因果関係を整理する活動を設定する。 - 個人で考えた後に意見を交流し、他者の考えを踏まえて自分の考えを再構成する。情報端末を活用し、根拠となる資料と考察を対応させて共有する。

算数	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	伴って変わる二つの数量や単位量当たりの大きさに着目し、図、式、言葉を関連付けて数量の関係を考察する力を育成する。	本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 71% - 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、求めた商を基に二つの数量を比較して判断することに課題が見られる。「変化と関係」55.6%、「データの活用」59.4%で、混み具合を求める除法の意味を判断する設問は35.4%であった。 - 基準量、比較量、割合の関係を、図や言葉で説明する力に課題がある。 - 数量の関係や判断の根拠を、図、式、言葉を関連付けて表現する力に課題が見られる。	- 問題場面を数直線や図に表し、式に用いた数や商が何を表すかを言葉で説明する活動を取り入れる。 - 日常的な場面で複数の考え方を比較し、図、式、言葉を関連付けながら、判断の根拠を説明する機会を設ける。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	・観察・実験を通して、自然の事物・現象について理解し、科学的に探究するために必要な知識及び技能を身に付ける。 ・観察・実験や資料から得た結果を根拠に考察し、表現する力を育成する。	・「人の体のつくりと働き」において、呼吸、消化、血液循環などの働きを理解しているが、器官相互の関係を説明すること。 ・観察・実験や資料から分かったことを根拠に、自分の考えをまとめて説明する力を高める必要がある。	・図やモデル、資料を用いて、呼吸、消化、血液循環などの働きを関連付けて整理する活動を行う。 ・予想、方法、結果、考察のつながりを意識して記録させ、根拠と結論が対応しているかを対話を通して検討する。 ・ICT 機器や動画資料などを効果的に活用し、児童が主体的に課題解決に取り組める学習環境を整える。
音楽	・曲想と音楽の構造との関わりを理解し、思いや意図に合った音楽表現を工夫するための技能を身に付ける。 ・演奏のよさを見だし、音楽を味わって聴く力を育成する。	【知識・技能】 ・表したい音楽表現に必要な技能の定着に個人差が見られる。 【思考・判断・表現】 ・曲想を生かした表現への思いや意図をもち、主体的に表現を工夫すること。	・動画教材やパート練習、個別練習の場を設定し、自分に合った方法で技能を高められるようにする。 ・演奏を録音・録画して変化を振り返り、表現の工夫を伝え合う活動や発表の場を設ける。
図工	・材料や用具の特徴を生かし、表し方を工夫して創造的につくったり表したりする力を育成する。 ・表したいことに向かって発想や構想を広げ、作品から自分の見方や感じ方を深める力を育成する。	【知識・技能】 ・既習の材料や用具の扱いを、表したいことに応じて適切に活用することに個人差が見られる。 【思考・判断・表現】 ・材料、形、色などの特長を生かして発想や構想を広げ、表現の意図を明確にすることに課題が見られる。	・材料や用具を試す時間を設け、既習の技能を組み合わせることで表し方を選択できるようにする。 ・制作途中の作品を見合い、よさや工夫を言葉で伝え合うことで、発想や構想を広げる。
家庭	・生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する知識及び技能を活用し、生活をよりよくしようと工夫する力を育成する。	・日常生活から課題を見だし、学習した知識や技能を関連付けて解決方法を考えることに課題が見られる。 ・学習したことを実生活で実践し、生活の改善につなげる力を高める必要がある。	・家庭生活の具体的な課題を取り上げ、複数の解決方法を比較して、自分に合った実践計画を立てる。 ・食生活では「食事の役割」「調理の基礎」「栄養を考えた食事」を関連付け、献立作成や調理実習、家庭での実践と振り返りを行う。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	・ 各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付ける。 ・ 自己や仲間の課題を見付け、解決のための動き方や練習方法を考える力を育成する。	・ 運動経験の差により、基本的な技能の定着に個人差が見られる。 ・ 自分の動きの課題を捉え、改善のための具体的な方法を選ぶことに課題が見られる。	・ 技能に応じた複数の場や練習方法を用意し、児童が自分に合った場を選択して運動に取り組めるようにする。 ・ 情報端末で自分の動きと手本を比較し、友達とポイントを伝え合いながら、課題に応じた改善を図る。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	・ 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションで活用できる基礎的な技能を身に付ける。 ・ 相手に配慮しながら、主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	・ 短い話や人物のやり取りを聞き、目的に応じて必要な情報や話の概要を捉えることに課題が見られる。 ・ 児童質問では「英語が得意」48.9%（都 60.7%）、「英語が好き」57.4%（都 65.1%）であった。表現を知っていても即興的に英語でやり取りすることに不安を感じる児童が見られる。 ・ 相手の発話に応じて自分の考えを伝えたり、やり取りを続けたりする力を高める必要がある。	・ NT とのやり取りやペア活動を短時間・高頻度で行い、既習表現を選んで伝える成功体験を増やす。 ・ 日本文化と他文化を比較し、英語で発信する課題を設定する。 ・ 聞き取る目的や着目する内容を明確にしてから音声を聞かせ、段階的な課題を設定する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	・ 道徳的諸価値について理解し、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える力を育成する。 ・ よりよく生きるための判断を、自分の生活に生かそうとする態度を育成する。	・ 価値理解だけでなく、人間理解や他者理解を深め、異なる立場から考えることに課題が見られる。 ・ 道徳で話し合う活動への肯定的回答は 87.2%であるが、話し合いで得た見方を自分の生活上の課題や具体的な行動に結び付ける振り返りには差がある。また、困りごとを学校の大人に相談できる肯定的回答は 63.9%である。 ・ 話し合いを通して得た見方や考えを、自分の生活や行動と結び付けて振り返ることが十分ではない。	・ 児童が問題意識をもてる教材や発問を工夫し、立場や状況を変えて考える活動を取り入れる。 ・ 「ゆきぶり」となる問いや対話を通して、道徳的価値を自分の生活と結び付け、考えの変化を振り返らせる。

令和8年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	・ 集団や自己の生活上の課題を見だし、話し合いを通して合意形成を図ったり、自主的に意思決定したりする力を育成する。 ・ 現在や将来に希望や目標をもって生きる態度を育成する。	・ 多様な意見を生かしながら合意形成を図り、決めたことを実践して振り返ることに課題が見られる。 ・ 活動経験を自己の成長や今後の目標につなげることが十分ではない。 ・ 学級会の話し合いと実践への肯定的回答はそれぞれ 93.7%、91.4%と高い。一方、決定事項を一部の児童に任せず全員が役割を果たすことや、実践後に成果と課題を検証し次の活動へつなげることに個人差が見られる。	・ 学級活動、係活動、縦割り班活動等で、課題の発見、話し合い、実践、振り返りの過程を明確にする。 ・ 一人一人が役割や目標をもち、活動後に成果と課題を振り返り、次の活動や将来の生き方に結び付ける。 ・ 活動後の振り返りを通して、成果や課題を次の活動につなげられるようにする。
総合的な学習の時間	・ 探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 ・ 自ら課題を設定し、情報を収集、整理・分析し、目的に応じてまとめ・表現する力を育成する。 ・ 学んだことを自己の生き方に生かそうとする態度を育成する。	・ 収集した情報の信頼性や必要性を判断し、目的に応じて取捨選択、整理・分析することに課題が見られる。 ・ 相手や目的に応じた表現方法を選択し、根拠を明確にして伝える力を高める必要がある。 ・ 情報を適切に活用し、分かりやすく発信する力に個人差が見られる。	・ 課題設定からまとめ・表現までの探究の過程を可視化し、各段階で振り返る時間を設ける。 ・ 複数の情報を比較・分類・関連付ける思考ツールを活用し、発表、文章、ポスター等から目的に合う方法を選んで表現させる。